

## 今月号の内容

1. ベルギーの政治・社会動向 .....	1
2. ベルギーの経済・産業動向 .....	2
3. 月例経済指標.....	5
4. EUの動向   JETRO ビジネス短信より .....	6
5. お知らせ .....	8

### 1. ベルギーの政治・社会動向

#### 1 2023年は史上3番目に暖かい年

王立気象研究所（RMI）は、2023年は1833年の観測開始以降で3番目に暖かい年だったと発表した。日照時間は平均を上回り、降雨量は1991年から2020年の期間で4番目に多い年となった。2023年のブリュッセルの平均気温は、通常の11.0度を上回り12.1度となった。平均気温が12度を超えたのは、2020年と2022年（12.2度）に次いで3回目。4月、7月、8月を除き、すべての月で平均気温が平年を上回り、特に6月と9月の平均気温は最高記録となった。年間降水量は1,011.4mm（平年：837.1mm）で、降水日数は207日（平年189.8日）となり、共に平均を上回った。降水量は、2001年（1,088.5mm）、2002年（1,077.8mm）、2021年（1,038.8mm）に次いで4番目に多い年となった。2023年の年間日照時間は、1,610時間19分（平年：1,603時間40分）となり、平年より日照時間が長かった月は、2月、5月、6月、9月の4ヶ月だった。（2024年1月1日）

#### 2 2023年、風力と太陽光の発電量が拡大、初めて再エネ由来の発電が化石燃料を上回る

現地紙によれば、ベルギーは2023年、風力と太陽光の発電量が27.7%に達し、2019年の13.4%、2022年の19.5%を大幅に上回り、再生可能エネルギー（再エネ）による発電量が化石燃料による発電量を初めて上回った。太陽光、風力その他、バイオマス、廃棄物などを加えた再エネ由来の発電総量は、エネルギーミックスの30%以上を占めた。再エネ拡大の背景として、洋上風力タービンやソーラーパネルの増設に加え、原子力発電施設2基（ドゥール3号炉とティアンジュ2号炉）の閉鎖により総発電量が減少し（2022年比13%減）、加えて消費電力量も減少したことが指摘されている。（2024年1月2日）

#### 3 ブリュッセル、世界渋滞都市ランキングで10位

オランダのナビゲーション会社TomTomの年次交通報告書によれば、ブリュッセルは世界で10番目に渋滞の多い都市だった。欧州では、ロンドン、ダブリン、ミラノ、ブカレストに次いで5位。55カ国387都市の交通動向に関する同報告書によれば、ブリュッセルでは、10キロの距離を車で移動するのに平均27分かかるといふ。2023年のブリュッセルでのドライバーの平均運転時間257時間の内、104時間が渋滞に費やされた。一方、木曜日の午後5～6時の間は、交通量が特に少なかった。（2024年1月15日）

#### 4 2025 年の大阪・関西万博に向けてベルギー館、起工式を実施

国際博覧会への参加を担当する国際博覧会ベルギー政府代表委員会 (BelExpo) は、2025 年日本国際博覧会 (大阪・関西万博) のベルギー館の起工式を行った。ベルギー館は、同万博のサブテーマの一つである「いのちを救う」のショーケースとなるべく、ライフサイエンスや医学研究分野でのノウハウや、技術・持続可能性への先進的なアプローチを反映するよう設計されている。BelExpo は、ベルギー連邦政府および各地域政府の支援を受けながら、館の設計、建築から会期中の運営、撤去まで全体を担う。(2024 年 1 月 16 日)

#### 5 ベルギー産豚肉の対中輸出が再開

連邦政府のクラランヴァル副首相兼農業相は、ベルギー産豚肉の中国向け輸出を再開することで、中国政府と合意したと発表した。中国はアフリカ豚熱 (ASF) の発生を受けて、2019 年にベルギー産豚肉の輸入を停止していた。ベルギーは 2020 年に ASF 清浄国のステータスを回復したが、中国への豚肉輸出は再開されていなかった。連邦政府のド・クロー首相とラビブ外相の中国訪問時に交渉が妥結した。ベルギーの対中豚肉輸出は、2016 年の 1 万 198 トンをピークに減少していた。(2024 年 1 月 17 日)

#### 6 薬物の密輸対策で欧州港湾同盟 (European Ports Alliance) を発足

連邦政府のヴェルリンデン内相は、欧州港湾同盟 (European Ports Alliance) を発足したと発表した。EU 加盟各国の当局と港湾など官民が連携し、欧州の港湾における組織犯罪と麻薬密売対策を共同して行う。同政策は、欧州連合 (EU) 理事会のベルギー議長国としての取り組みの 1 つ。組織犯罪・麻薬対策として、今後数ヶ月の 10 の優先行動 (EU ロードマップ) を策定しており、今回の同盟発足はその一環として位置づけられている。ベルギーでは頃来、組織的な麻薬組織により、治安が悪化している。(2024 年 1 月 24 日)

#### 7 連邦政府、ガソリンとディーゼル燃料の社用車に増税なしで合意

連邦政府は、ガソリンとディーゼル車の社用車への増税を見送ることで合意した。電気自動車のシェアが拡大し、ガソリンやディーゼルを燃料とする社用車の台数が減少するとの見込みの下で増税が予定されていたが、政府はガソリンやディーゼルを燃料とする車へのさらなる増税は時期尚早と判断した。また、緑の党の主張により、電車や自転車通勤にも新しいルールが適用され、利用者は恩恵を受ける見込み。(2024 年 1 月 30 日)

## 2. ベルギーの経済・産業動向

#### 1 2023 年の新車登録台数は前年比 30.1%増、新型コロナ禍以降で最大

ベルギー自動車工業会 (FEBIAC) は 2023 年の乗用車の新車登録台数を 47 万 6,675 台と発表した。前年比 30.1%増となり、2020 年の新型コロナウイルス感染症拡大以来、最大数を記録。過去 10 年間の平均に近い水準まで回復した。2023 年の乗用車の新車登録台数は、2023 年 7 月 1 日以降に購入またはリースされる内燃機関搭載車やハイブリッド車向けの税制変更に伴う駆け込み需要を背景に、1~6 月に大きく伸び、6 月には前年同月比 48.7%増を記録した。7~12 月も全ての月で前年同月を上回ったが、6 月をピークに登録台数は減少し、12 月は 4.6%増にとどまった。(2024 年 1 月 2 日)

★詳細はジェットロビジネス短信（2024 年 1 月 14 日付）

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/02/0d47080e9bf12635.html>

## 2 電気自動車への乗り換え意欲が減退

BNP パリバ・フォルティスが実施した持続可能なモビリティ調査によれば、ベルギーの自動車保有者の 6 人に 1 人が既に電気自動車を所持しており、非常に満足しているという。一方で、2029 年までに電気自動車やハイブリッド車への乗り換えを考えている世帯は 37%に留まり、前年の 47%から減少した。また、42%（前年 35%）の世帯は電気自動車やハイブリッド車に乗り換えないと回答した。買い替えが進まない理由として、充電インフラが限られていることや、走行距離への不安、電気自動車の価格が高く、内燃エンジン車を手放したくないことなどが挙げられた。（2024 年 1 月 10 日）

## 3 アントワープ・ブルージュ港、地政学的緊張と世界経済の成長鈍化で業績悪化

アントワープ・ブルージュ（PAB）港は、地政学的緊張と世界経済の成長鈍化によって、工業生産と貿易が影響を受けたことで、2023 年の総輸送量は 2 億 7,100 万トンとなり、前年比 5.5%減となったと発表した。一方で、ブルージュ港との合併が功を奏し、コンテナ部門の市場シェアは、独ハンブルク・仏ルアーブル間に位置する他の港に比べ上昇した。PAB 港は、持続可能な成長を優先課題とし、今後 10 年で約 29 億ユーロの投資計画を予定している。同港は太陽光や風力エネルギーの開発だけでなく、エネルギーキャリアとして、工業用原料、船舶用燃料に活用可能な水素を中心に、グリーンエネルギーの輸入にも注力している。今年中に水素とメタノールなどの水素キャリアのバンカリング（船舶への燃料供給）が初めて実施される予定だ。また、世界初のメタノールを動力源とするタグボートと、ヨーロッパ初の電気式のリバース・スターン・ドライブ（RSD）型のタグボートも近く導入される見込み。（2024 年 1 月 10 日）

## 4 ボルボのゲント工場、紅海の混乱を受け製造を 3 日間停止

ボルボ・カーズのゲント工場は、紅海でのフーシ派による船舶攻撃によって発生した混乱により、部品の供給が間に合わず、生産を 3 日間停止すると発表した。広報担当者によれば、販売や生産計画への影響はないという。今回の攻撃を受けて、ボルボのゲント工場への部品納入用の航路の調整を余儀なくされている。「年間数十万台を生産・販売する自動車メーカーとして、国際海運の混乱を含むサプライチェーンの混乱の影響を受ける可能性がある」としたものの、この混乱による生産目標への影響はないとしている。（2024 年 1 月 12 日）

## 5 ユミコア、電池材料技術開発でマイクロソフトと AI プラットフォーム契約を締結

素材大手のユミコアは、人工知能（AI）を活用し、電気自動車用電池材料技術の研究を促進・加速するための契約を、米マイクロソフトと締結した。AI を活用することで技術者の開発を支援し、市場投入までの時間を短縮、コスト効率の高い開発プロセスを目指す。今回のバッテリー材料 AI プラットフォームは、マイクロソフトの Azure OpenAI Service を活用し、ユミコアの独自の環境で運用され、知財対策も実施される。これにより、ユミコアは、電池材料の研究開発から得られた数十年にわたる膨大かつ複雑なデータを分析、合成、統合する独自の AI 環境を構築する。さらに、ユミコアのデータを、シミュレーションモデル、実験、画像など、

---

さまざまなソースから得られた外部データや最新技術に関する情報と組み合わせることが可能となる。(2024 年 1 月 18 日)

---

#### 6 ソルベイ、太陽光発電の需要拡大に対応し、中国の製造設備の生産能力拡大を発表

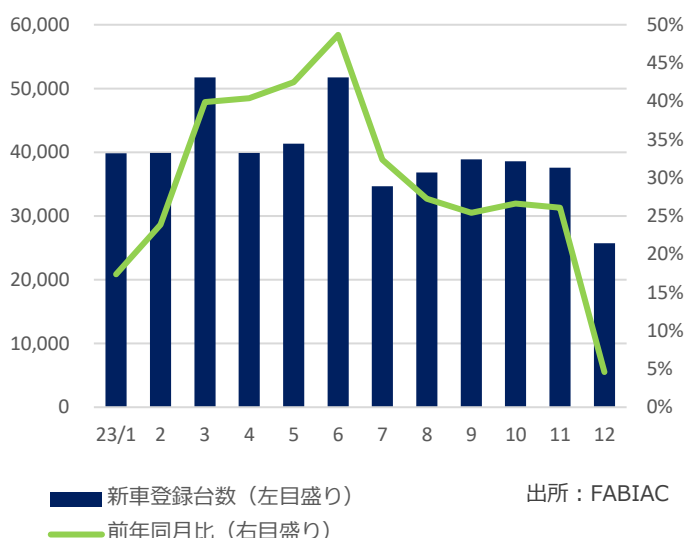
化学大手ソルベイは、太陽光発電の需要拡大に対応し、北京南方の山東省の製造施設の過酸化水素の生産能力拡大を発表した。今回の投資は、山東陽谷華泰化工との合併会社である「Shandong Huatai Interox Chemical」の生産設備の増強で、2025 年までに年間 48 キロトンの太陽光発電グレードの過酸化水素を生産を目指す。これにより、ソルベイの世界市場におけるリーダーシップを強化するとともに、太陽光発電産業からの高まる需要に効率的に対応し、中国北部における再生可能エネルギー分野の成長をさらに支援したい意向。(2024 年 1 月 24 日)

### 3. 月例経済指標

#### 12月の新車登録台数 前年同月比 4.6%増

ベルギー自動車工業会（FEBIAC）によれば12月の乗用車の新車登録台数は、2万5,715台（前年同月比4.6%増）だった。2023年通年では前年比30.1%増となり、2020年の新型コロナウイルス感染症が拡大して以来、ベルギーの自動車市場にとって最多を記録し、過去10年間の平均に近い水準まで回復した。メーカー別では、BMWのシェアが13.57%と最大で、フォルクスワーゲン（9.03%）アウディ（7.03%）、が続いた。（2024年1月2日）

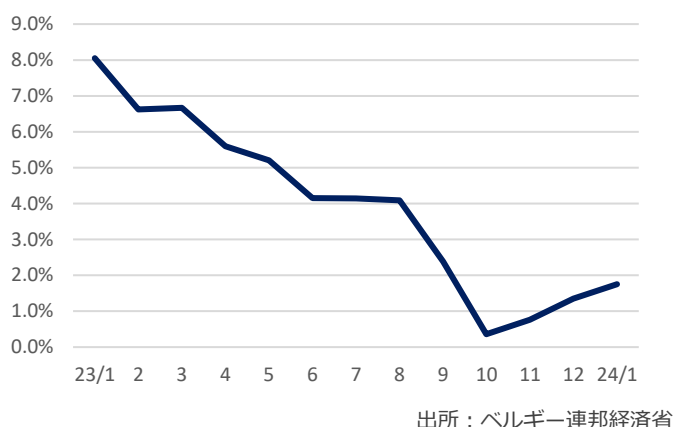
新車登録台数の推移



#### 1月のインフレ率 前年同月比 1.75%上昇

連邦経済省の発表によると、1月の消費者物価指数は前年同月比で1.75%上昇した。乳製品、家事代行サービス、パン・穀物類、アルコール飲料、賃貸料が押し上げ要因となった。他方、天然ガス、車両用燃料、航空券、電気代、ホテル宿泊料が押し下げ要因となった。（2024年1月30日）

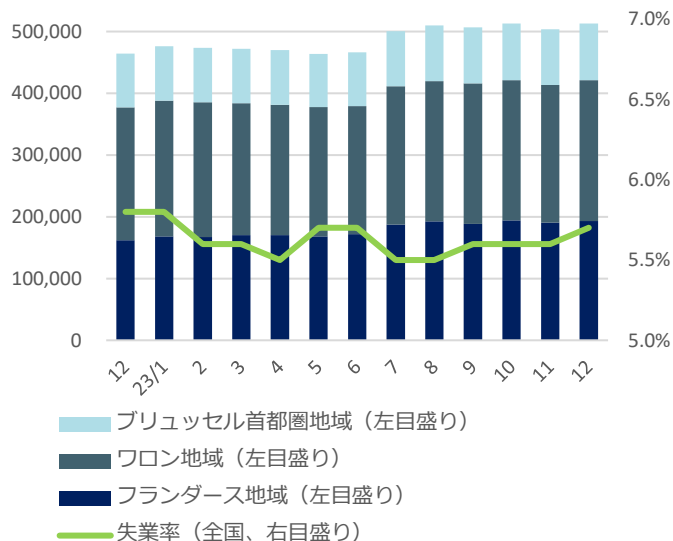
消費者物価上昇率（前年同月比）



#### 12月の失業率 5.7%、前年同月比横ばい

ベルギー国立銀行（NBB）によれば、国内の12月の失業率（季節調整値）は、5.7%（前年同期比横ばい）だった。各地域政府が発表した失業率をみると、ブリュッセル首都圏地域の12月の失業率は、前年同期比（以下同じ）0.8ポイント増で15.2%、フランダース地域は、0.7ポイント増で6.5%となった。ワロン地域は、未発表だった。地域別の失業者数では、フランダース地域が19万3,134人、ワロン地域が22万7,945人、ブリュッセル首都圏地域が9万2,053人だった。（2024年1月5、18日）

失業率と地域別失業者数の推移



※ベースとなる労働力人口の算出方法は地域により異なる。

#### 4. EU の動向 | JETRO ビジネス短信より

- (1) EU、人材不足対応に向けた単一許可指令の改正案で政治合意 (2024 年 1 月 4 日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/779c98d3c59bb32f>
- (2) EU 理事会、ルーマニアとブルガリアの空路と海路のシェンゲン協定参加を決定 (2024 年 1 月 4 日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/ff19afb3e8194ec2>
- (3) バイデン米大統領、EU 向け鉄鋼・アルミ 232 条関税除外措置の 2 年間延長の大統領布告発表 (2024 年 1 月 4 日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/23019022a49e50fd>
- (4) 欧州委、CBAM 移行期間の GHG 排出量デフォルト値を公表 (2024 年 1 月 10 日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/221ff5c2c0b0c96f>
- (5) EU、2023 年の風力発電設備新設は過去最大も、業界団体は一層の取り組み求める (2024 年 1 月 16 日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/bda6fa60b8608a60>
- (6) 欧州物流貨物協会、紅海情勢による物流網混乱を懸念、海運企業に慎重さ求める (2024 年 1 月 18 日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/8ba7989c2c93633d>
- (7) 欧州科学諮問機関、EU の気候中立政策について初の報告書公表 (2024 年 1 月 22 日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/3e9d26dc1674c318>
- (8) インド、EU との半導体エコシステムの協力覚書を閣議決定 (2024 年 1 月 24 日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/448dd26912df8ff9>
- (9) EU の 2023 年の乗用車新車登録台数、4 年ぶり前年比プラス、BEV がディーゼル超え (2024 年 1 月 24 日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/07b5ab41aec7bd9f>
- (10) EU、大型車の CO2 排出基準規則の改正案に政治合意 (2024 年 1 月 24 日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/7832db6a26607306>
- (11) 欧州中央銀行、3 会合連続で主要政策金利を据え置き (2024 年 1 月 26 日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/c1af8d2e077fb880>
- (12) 欧州委、経済安保強化に向けた政策パッケージを発表 (2024 年 1 月 29 日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/406a0895b1174e35>

(13) 欧州委、投資・輸出規制イニシアチブを発表、経済安保政策パッケージの一環  
(2024年1月29日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/f777c991c6107ea3>

(14) 欧州会計検査院、気候中立目標に向けゼロエミッション車の普及を提言 (2024年1月31日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/ac1a0842dec925d5>

(15) 「EU 農業の将来に関する戦略的対話」始まる、生産者の不満解消につながるか  
(2024年1月31日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/c771cd55aea3d15a>

(16) 世界の政治・経済日程 (2024年2~4月) (欧州) (2024年1月31日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2023/09/13837d5d7efc4f63.html>

★次のページにレポート・イベント等のお知らせがあります。

## 5. お知らせ

### ★メールマガジン「ジェットロ EU トピックス」のご案内

ジェットロ・ブリュッセル事務所では、EU の最新情報や欧州域内のジェットロ各事務所が実施するセミナー情報などをお届けするメールマガジン「ジェットロ EU トピックス」を配信しています。配信日は毎月第 1 木曜日を目安としています。配信を希望される方は、以下のようにお申し込みください。

(1) 欧州域内にお住まいの方：以下の必要事項をご記入の上、ジェットロ・ブリュッセル事務所 ([belinfo@jetro.go.jp](mailto:belinfo@jetro.go.jp)) までお申し込み下さい。

①お名前とご所属先（英文・和文）、②お住まいの国名、③送付先メールアドレス

(2) 欧州地域以外に在住の方：以下の URL からお申し込みください。

[https://www.jetro.go.jp/jetro/overseas/be\\_brussels/mail.html](https://www.jetro.go.jp/jetro/overseas/be_brussels/mail.html)

※内容についてなど、ご質問などございましたら、ジェットロ・ブリュッセル事務所 ([belinfo@jetro.go.jp](mailto:belinfo@jetro.go.jp)) までお問い合わせください。

### 調査レポートのご案内

- 地域・分析レポート「[徹底解説：EU グリーン・ディール産業計画](#)」（2023 年 12 月）

- ・第 1 回：[規制緩和策で米中に対抗](#)

- ・第 2 回：[財政支援策と課題](#)

※ドイツ、フランス、ベルギーなどの事例も紹介する特集「[欧州各国の脱炭素・循環型ビジネス最新動向](#)」（2023 年 12 月）をあわせてご参照ください。

- 地域・分析レポート「[中国製 EV との戦い方模索する EU](#)」（2023 年 12 月）

※中国 EV・車載電池企業の欧州、ASEAN、中南米でのビジネス展開に関する特集「[中国 EV・車載電池企業の海外戦略](#)」（2023 年 12 月）もご参照ください。

- 調査レポート「[2023 年度 海外進出日系企業実態調査（欧州編）](#)」（2023 年 12 月）

- 地調査レポート「[「サプライチェーンと人権」に関する政策と企業への適用・対応事例（改定第九版）](#)」（2023 年 12 月）

- 調査レポート「[EU バッテリー規則とドイツを中心としたバッテリー生産・リサイクルの動き](#)」（2023 年 11 月）

- 特集「[スタートアップを生んで育てる。最前線の取り組み（欧州編）](#)」（2023 年 12 月）



**ベルギー日本人会商工委員会ビジネスセミナー案内送付のお知らせ**

ベルギー日本人会商工委員会と JETRO ブリュッセル事務所は、EU の政策動向、欧州各国の政治・経済情勢、労務・法務・会計等の制度情報など皆様のビジネスに関連するテーマを題材にしたビジネスセミナーを年に 4 回程度開催しています。日本人会会員企業の方は無料で本セミナーにご参加いただけます。案内状の送付を希望される方は、[belinfo@jetro.go.jp](mailto:belinfo@jetro.go.jp) までメールアドレスをご連絡ください。

**ベルギー拠点設立に関する専門家相談サービスのご案内（法務・労務・税務）**

JETRO ブリュッセル事務所では、ベルギーに拠点設立を検討されている企業様、または進出後まもない企業様を対象に、弁護士・税理士等によるコンサルティングサービスを提供しています。2 時間まで無料でご利用いただけます。ぜひご活用ください。

※原則として中堅・中小企業を対象としていますが、大企業も対象とできる場合があります。詳細はお問合せください。

** サービス詳細・お申込み**

<https://forms.office.com/r/MDqXipfgZf>

mailto:お問合わせ先 | ジェトロ・ブリュッセル事務所 ([belinfo@jetro.go.jp](mailto:belinfo@jetro.go.jp))